
[イナg]笑顔の約束・シュウ・

みかん

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

「イナg」笑顔の約束・シュウ・

【Nコード】

N2205BA

【作者名】

みかん

【あらすじ】

恋の物語？

映画沿いかなあ？ぜんぜんかなあ？

わからないけど、シュウとの恋物語だけど、基本は映画沿いです。

ちょっとネタバレあるかも……

ブローグ

．．．．．キミは、笑わない．．．．．

此处にやって来た時から、キミは笑わなくなった。

ねえ、笑ってよ．．．．．

今までの笑顔はどうしたの？

何時も楽しそうにサッカーしてたのに．．．．．
どうして．．．．．

笑ってよ．．．．．

キミに似合うのは笑顔だから．．．．．

今のキミは、キミじゃない．．．．．

キミらしくない．．．．．

笑顔を忘れたのなら、取り戻して見せる！！

僕は強くなる！！

必ず・・・必ず守ってみせる!!!

プロローグ（後書き）

ワケわからん・・・

しかも、恋愛じゃないじゃん！

しかも、映画沿いにしたいからって、

映画見てもないのに、無理しとるう！！

駄作者の私を助けてください！！

設定

菜美瀬 真理 なみせまり

- ・雷門サッカー部1年
- ・転校生でエリートシード
- ・2体の化身使い（名前などは決めてません）
- ・緑のショートカットで水色の瞳
- ・凄く賢くて、美人& a m p ;可愛い
- ・シュウと白竜の幼なじみ
- ・実はシュウのことが・・・

シュウ

- ・エンシャントダークのキャプテン
- ・真理の幼なじみ
- ・白竜のライバル
- ・見た目は映画などと、一緒！！
- ・真理のことが好き

白竜

- ・アンリミテッドシャイニングのキャプテン
- ・真理の幼なじみ
- ・シュウのライバル
- ・見た目は映画などと、一緒！！
- ・真理のことが好き

後は、雷門サッカー部の皆さんです！

設定（後書き）

真理の化身のアイデアください！！
マサキ以下のネーミングセンスの私を
助けてください！！

転校生?!

伸「天馬あ　！急がないと、朝練、間に合わないよぉ！」

葵「天馬！早くしないと私たちも遅れるよ！」

木枯らし荘まで来ていた伸介と葵・・・

天「葵！伸介！先に行つてて！」

伸& a m p；葵「はぁ・・・・・・・・」

二人はため息をつきながらも走つていった。

天「ヤバイよ！！朝練遅れちゃう！」

天馬が雷門の近くまで来ると、
うつむいている女の子を見つけた。

天馬がみていると、それに気づいた女の子が、
中へ逃げていった。

天「不思議な子・・・・・・・・あつ！朝練！」

結局天馬は、朝練に遅れ、

先輩たちに、ひどく叱られるハメになった。

天「はぁ・・・・・・・・今日は不運だなぁ・・・・・・・・」

葵「あれは、天馬が悪いんでしょ！」

伸「二人とも！！先生来たよ！！」

伸介の声と同時に教室が静かになった。

先「それでは、HRを始める！
今日は転校生が来ている！！」

天&a m p；伸&a m p；葵「えっ?!」

先「では、入ってこい!!」

先生の後に出てきたのは、
今朝、見かけた女の子だった。

天「えっ?!」

先「紹介する!!菜美瀬^{なみせまり}真理だ!!」

そう言って、黒板に名前を書いた。

真「菜美瀬です・・・よろしくお願いします」

自己紹介なのに、彼女は笑わなかった。

転校生?! (後書き)

何が書きたいかわからないww
二次創作いがいに難しいww

シュウの所に、どうやって繋げよう???

サッカー部へ！！

先「席は・・・・・・・・後ろが空いてるな」

先生が見たのは、天馬の後ろの席だった。

真理が席にすわると、天馬は後ろを振り向いた

天「ねえ？朝、あつたよね？」

真理は、小さくうなずいたが、それ以外は何も言わなかった。

放課後

天馬は、真理の方からだを向けた。

天「部活やるの？」

ま「・・・・・・・・・・うん」

天「なに部？」

ま「・・・・・・・・サッカー部」

天「そうなの？」

そこに伸介と、葵が来た。

伸「天馬！！どうしたの？」

天「えっ？！あっ！伸介か」

伸「僕じゃ嫌だった？・・・・・どうしたの？」

天「菜美瀬さんが、サッカー部に入りたいらしいよ。」

伸「amp;葵「あつ！そうなの？」

ま「・・・うん。私のことは、真理でいいよ・・・」

葵「わかった！なら、私のことは葵って読んで！」

伸「僕は伸介！！よろしく」

天「俺は、天馬だよ」

ま「・・・よろしく・・・」

伸「あ・・・天馬・・・」

天「どうした？伸介？」

伸「早く行かないと時間無いよ」

天「や・・・ヤバイ！急ごう！」

ま「・・・」

真理は、天馬たちの後ろについて
サッカー部にむかった。

天「ここが、サッカー部だよ！」

そう言つて、部室に入った。

神「遅いぞ！天馬・・・その子は？」

後ろに隠れていた真理は、前にでた。

ま「菜美瀬 真理です・・・」

サッカー部・・・入部希望です・・・」

三「入部希望か・・・」

伸「真理は、スッゴいサッカーが上手いんです」

神童は、監督の方を向いた。

神「監督！今日は入部テストですか？」
き「いや、菜美瀬の入部を認める。」

1年以外「えっ？！」

サッカー部へ！！（後書き）

中途半端ですいません！

真理の化身の名前を募集中です

伸介が、真理のサッカーの凄さを知っていたのかと、
1年が、驚かなかったのは、実は体育で
サッカーをして、既に知ってるからです。

まるで、裏エピソードww

アンケート止めたww

書くのを決めた！

帰り道（前書き）

今回は、時間がなくて、凄く短いです。

それでも、合間を見つけたら書いていこうと思います。

がんばりますね！

帰り道

神「どうしてですか？監督！」

き「菜美瀬の凄さは、私も知っている。

菜美瀬の実力は本物だ……」

神「そうですか……」

神童が後ろに下がったのを見て、霧野が来た。

霧「（おい！神童！あの新入部員……大丈夫なのか？）」

神「監督が言うのだから、心配ないだろう……」
霧「そうか……」

練習は、とくに変わった事もなく、
まりも普通のプレイをしていた。

プレイを見て安心したのか、終わる頃には、
すっかり馴染んでいた。

けれども真理は、口を開かなかった。

そして、練習が終わったあと……

天「真理！！」

ま「……なに？」

真理が足を止め、振り向いた。

天「このあと暇かな？俺の家でパーティーしようよ！」
ま「・・・・・・・・わかった」

真理は天馬の後ろについて、木枯らし荘にむかった。

木枯らし荘に着いた頃には、すでに
葵と、伸介と、狩屋がきていた。

帰り道（後書き）

今やっていることが

ある程度片付いたら、新しいのを書きます。

まあ、私の好きなアニメで、イナゴにあうので、考えてもなくて、
友達の家で見つけた、オリジナルの卵
見つけて、

（あっ！しゅごキャラにしよう！）

って思いました。

ちなみに、こっちはやめませんが、
新しいのは、下書き無しの、
書きたい放題の適当なやつになります。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2205ba/>

[イナg]笑顔の約束・シュウ・

2012年1月14日20時50分発行